



サービス付き高齢者向け住宅「グレイプスフェリシティ戸塚」における MEMS (マンションエネルギー管理システム) を主とした見守りシステム

「住宅」としてのプライバシーと快適性を確保しながら、
ご高齢者の安全、ご家族の安心、介護事業者のサービス向上を確保する『そっと見守り』システム。

課題

① 高齢者・要介護者
世帯の増加

② 世帯分離による
家族間の疎遠化

③ 介護事業者の
人手不足・労務負担

④ 認知症徘徊の
深刻化

それぞれの課題解決と、『グレイプスフェリシティ戸塚』の「住まい」としての質を高めること。
その両立への思いから、省エネ施策に用いられるMEMSに見守りシステムという新たな活用法を見出した。

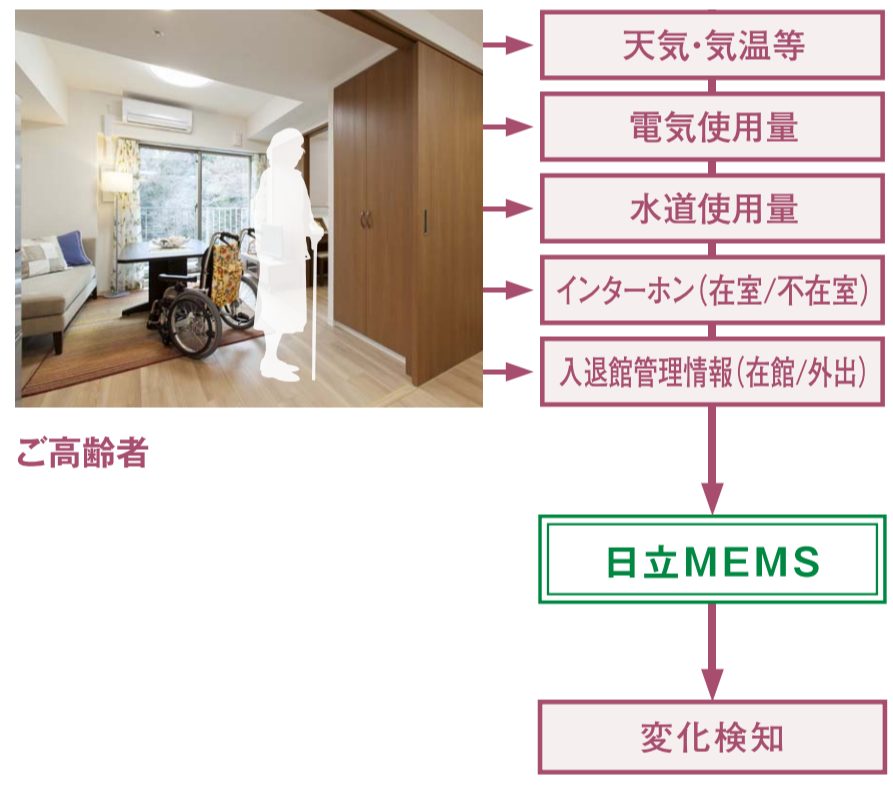
課題解決のコンセプトとその方法論

① ご高齢者

普段の生活どおりで
見守りが可能になる

暮らす自由

日常の生活情報である
エネルギー（電力・水道）使用量や
温湿度変化の検知により生活異変を捉える



② ご家族

離れていても
日常の様子を知ることができる

見える安心

従来緊急時等にしか知り得なかった
ご高齢者の情報を日常的に知ること、
継続的な安心をご家族にも提供

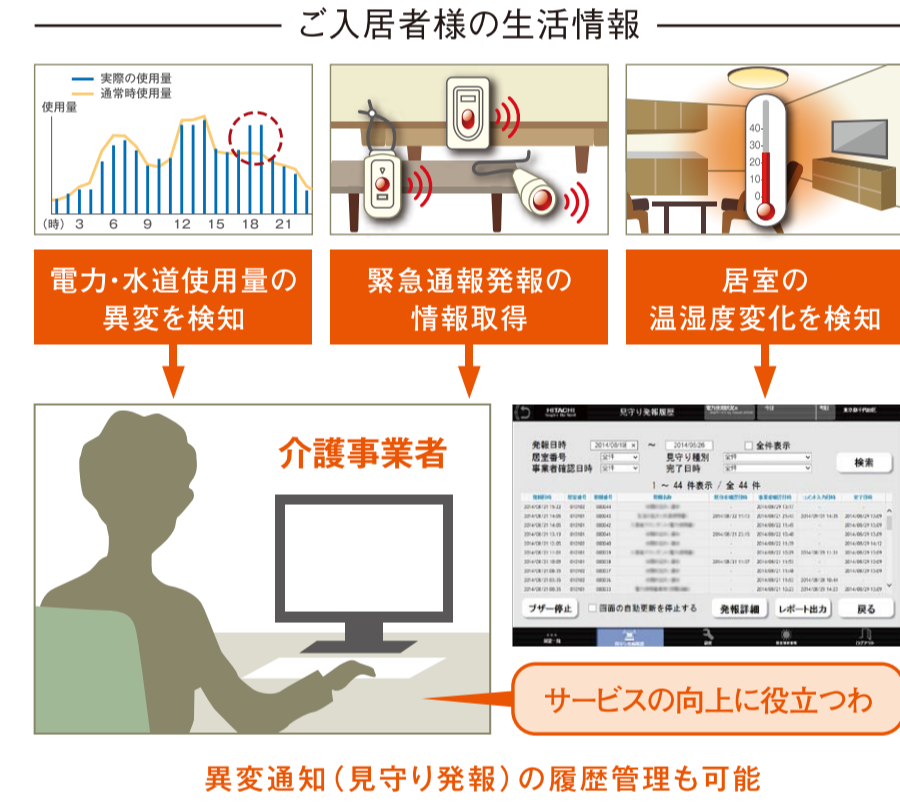


③ 介護事業者

通常業務では見えにくい
生活異変を検知できる

効率的な介護

住戸毎に生活パターンをモデル化し
中長期的な変化を捉え、ケアプランの作成や
巡視などの予防ケアに活用

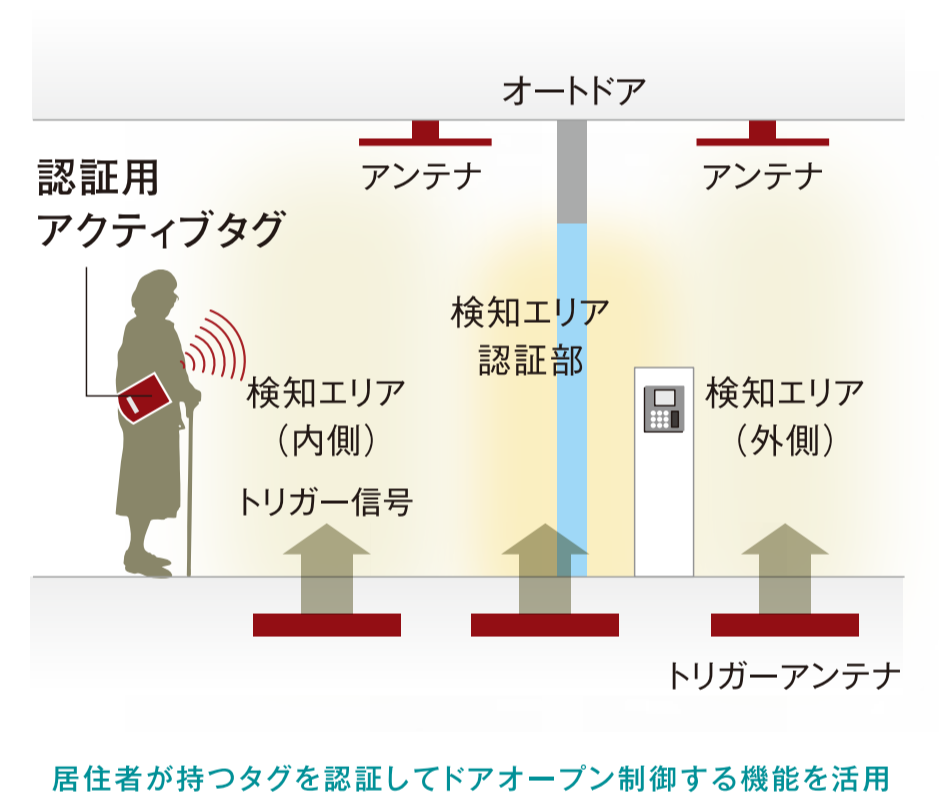


④ 社会問題

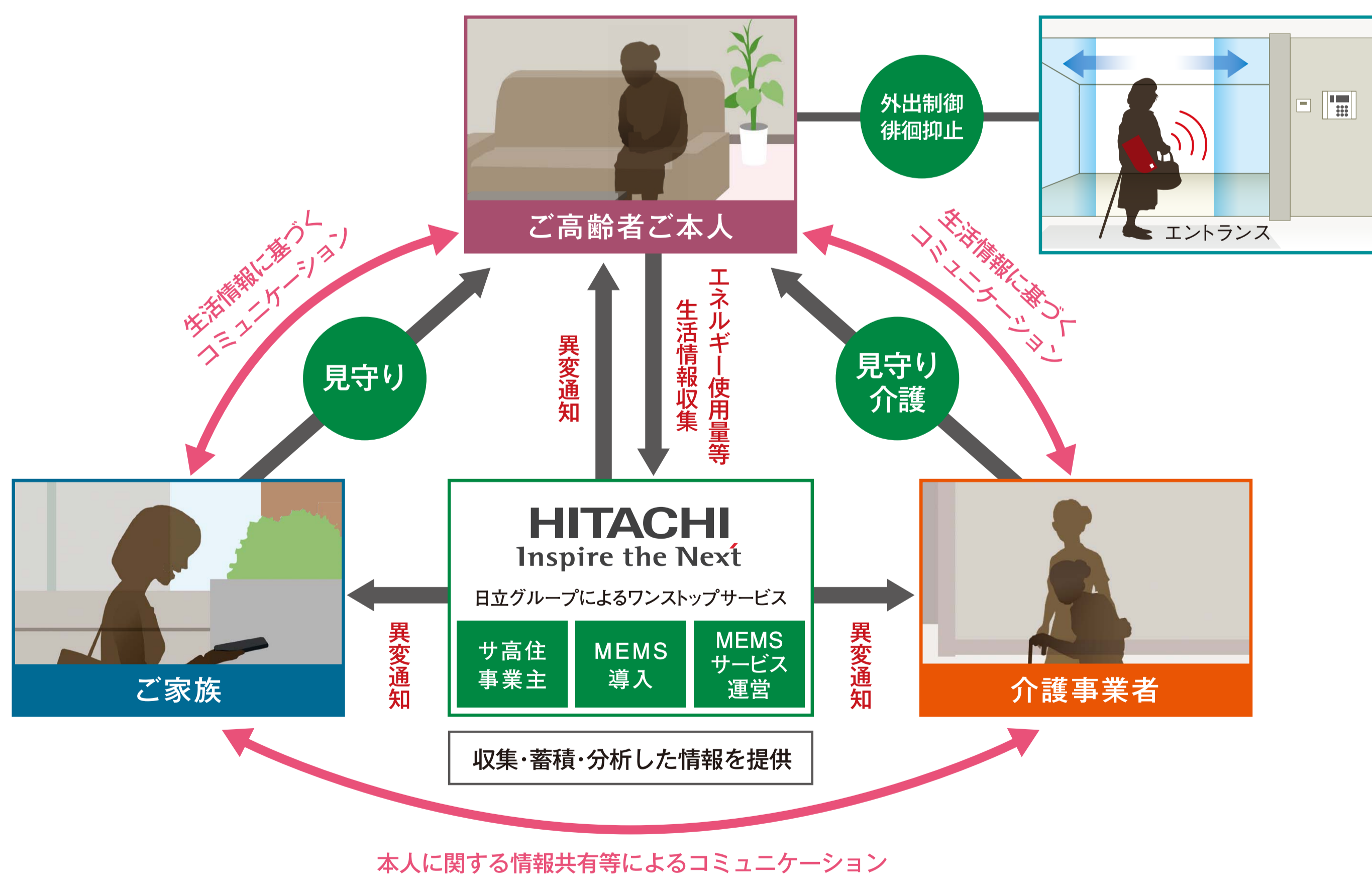
入居者の生活を尊重しながら
認知症徘徊を抑止できる

日常的な認知症ケア

ハンズフリーセキュリティの利用により
認知症徘徊を未然に防ぐための
外出抑制を可能にする



MEMSがつなぐご高齢者・ご家族・介護事業者



本システムが
超高齢社会に提供できること

日立のビッグデータ分析
ノウハウを活用し、
前月との生活パターンの
比較等を行うことで、
中長期的な生活状況の
変化把握に基づく
予測検知が可能になる。

特許出願中

継続性・汎用性が高い『そっと見守り』システムにより、
超高齢社会の一助となると共に、高齢者住宅の品質向上を牽引します。